



「習志野 ずっと住みたい まち計画」第29号

無所属

習志野市議会議員

# 伊藤ひろし

## 防災情報の伝達



9月の定例議会が30日に閉会しました。私は9月15日（木）の3番目に質問を行いました。質問内容は、①防災体制の確立 ②滞納徴収業務の強化 ③学校施設の有効活用 ④行政評価を活用した市政運営です。「防災」については、詳細に4項目の質問をしました。

今議会報では、3月11日の震災以降、市民の皆様から「屋外スピーカー（防災行政無線）から放送される内容が聴き取りづらい」との御意見をお寄せ頂いたことに関しての改善提案と市の回答を御報告させていただきます。

### 「防災情報の多様な伝達手段」を提案！

- 1、インターネットFAXの導入
- 2、野外放送案内を電話確認できるシステムの導入
- 3、個別受信装置の充実

**提案①** 町会・自主防災組織など、大量件数が数分で配信できる「インターネットFAX」を導入してはどうか

**回答：**検討期間は、はっきり申し上げられないが、早く検討していく。

**提案②** 屋外スピーカーから放送された内容を市民が「電話で確認できるシステム」を導入してはどうか

**回答：**導入している自治体が増えているので、前向きに検討していく。

**提案③** 屋外スピーカーの個別受信装置を市境周辺の家屋、茜浜・芝園など工業団地に設置すべきと思うが、どのような計画を作成しているのか

**回答：**今年度実施する音響調査の結果（12月末日）を受けて、整備計画を立てる。



市民の皆様を守るためには、市役所からの「避難勧告・防災情報」を迅速且つ的確に伝達できる手段を充実させる必要があります。今議会では、市内どこでも、悪天候でも、市民の皆様に防災情報が提供できる「まちづくり」の必要性を訴え、市長に3つの提案をしました。提案内容に関して、検討期間を明確に回答しないことに不満を感じました。防災体制の確立については、特にスピード感を持って取り組むように訴えました。